

第一種電気工事士免状申請における 実務経験証明の作成方法について

【注意点】

- ①実務経験の証明者は実務経験の期間に雇用されていた会社(事業所)から証明してもらわなければなりません。
- ②一般用電気工作物及び契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物での実務経験を証明するには、実務経験の期間にその会社(事業所)に雇用されており、かつその会社(事業所)が電気工事業の登録がなされていなければなりません。
(※電気工事業の登録が無い会社で一般用電気工作物等の電気工事の事業を営むことは電気工事業法に抵触します)
契約電力 500kW 以上の自家用電気工作物での実務経験につきましては、会社(事業所)の電気工事業の登録の有無は問いませんが、実務経験を有する期間に雇用されていた会社(事業所)から証明してもらう必要があります。
- ③何れの様式も実務経験証明者の押印は実務を積んだ(雇用されていた)事業所の代表者の印鑑(法人の場合は代表取締役の印(法務局に登録されている印鑑))が必要です。
また、デジタル印や押印した申請書のコピーでの提出は認められませんので、必ず押印された原本をご提出してください。

【実務経験別の使用(利用)する実務経験書様式について】

- 実務経験書 1… 主に一般用電気工作物の実務経験で申請
- ・第二種電気工事士免状取得後、電気工事業の登録がある事業所で 3 年以上の実務経験を積まれた方
 - ※第二種電気工事士の免状の写しを添付すること
- 実務経験書 2… 主に契約電力 500 k W以上の自家用電気工作物の実務経験で申請
- ・電気主任技術者指導監督の下で 3 年以上の実務経験を積まれた方
 - ※主な現場を 2 つ以上経験されている場合は、必ず 2 つ以上記載すること（現場名、契約電力及び受電電圧記入必須）
- 実務経験書 3… ①契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物の実務経験で申請
- ・認定電気工事従事者認定証を取得後に契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物の電気工事を合計して 3 年以上の実務経験を積まれた方
 - ※認定電気工事従事者認定証の写しを添付すること
 - ※契約電力 500 k W未満自家用電気工作物について、主な現場を 2 つ記載すること（現場名、契約電力及び受電電圧記入必須）

②一般用電気工作物及び契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物の実務経験で申請

- ・一般用電気工作物については第二種電気工事士免状取得後、契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物については認定電気工事従事者認定証を取得後に合計して 3 年以上の実務経験を積まれた方
- ※第二種電気工事士免状及び認定電気工事従事者認定証の写しを添付すること
- ※契約電力 500 k W未満自家用電気工作物について、主な現場を 2 つ記載すること（現場名、契約電力及び受電電圧記入必須）

③主に事業用電気工作物の実務経験で申請

- ・電気事業の用に供する電気工作物を専門に施工する事業所で 3 年以上の実務経験を積まれた方
- ※主な工事内容及び発電所もしくは変電所等の実務経験がある場合その現場名および設備の大きさ（電圧、出力、設備容量等）が確認できるものを 2 か所以上記載すること。

複数の実務経験がある方もしくは何れにも該当しない実務経験がある方

- ・それぞれの実務経験がある場合は記載例を参考に予め記載されている内容を実務ごとにすべて記載してください。
- ※何れにも当てはまらない場合はお問い合わせください

実務経験証明書作成時の注意点（共通事項）

実務経験書 1 を使用した場合(参考) ※実務経験書 2、3 使用時も参考にしてください

実務経験の期間及び内容	
期 間	職務の内容
〇〇年〇〇月 ～ 〇〇年〇〇月	<一般用電気工作物等における電気工事> 第二種電気工事士免状取得 <S・H・R 〇〇年〇〇月〇〇日> ①第二種電気工事士免状取得後、主任電気工事士の監督のもとで、 作業員として一般用電気工作物の 新設・増設・改修 電気工事 に従事し、主に 低圧屋内配線の分岐回路・コンセントの設置・ 照明器具取付・引込線の新設 低圧屋内配線の敷設・点滅器の取 付・その他等}等の工事を行った。 ②実施件数 (〇〇) 件 ③その他の工事内容 (上記、その他該当の方のみ記入) ()
通算期間	〇年 〇月

上記のとおり、実務経験を有することを証明します。
令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
所在地 (〒〇〇〇—〇〇〇〇)
〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇丁目〇〇番地〇〇号
会社名 (事業所名) 〇〇電気工事株式会社
代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 代表者印 **締
代
役
表
印
取**
電気工事業者は、登録または届出番号 (福岡県第 〇〇〇〇〇〇 号)

実務経験の積み上げに要した期間を
記入してください。
(例)令和元年6月から令和7年5月までの内、
電気工事の実務を4年行った
期 間… 令和元年6月～令和7年5月
通算期間… 4年0月

該当するものに○を付けてください。
該当しない電気工事の実務があればその他に記入してください

請け負った件名ごとに1件とカウントして、
件数及び実務の通算期間をカウントしてください。
(例)1日で終わった件名… 実施件数1件、実務期間1日
1か月かかった件名… 実施件数1件、実務期間1か月
※注意点…実務は電気工事を行った期間を積み上げて下さい
工期ではありません
※設計、点検、監督は電気工事の実務とはなりません

電気工事業の登録内容 (所在地、会社名、代表者名、
登録(届出)番号)と一致していなければなりません

一般用電気工作物及び契約電力 500kW 未満の自家用電気工作物での実務経験を証明するには、実務経験を有する期間に
その会社(事業所)に雇用されており、かつその会社(事業所)が電気工事業の登録がなされていなければなりません。
(※電気工事業の登録が無い会社で一般用電気工作物等の電気工事の事業を営むことは電気工事業法に抵触します)
契約電力 500kW 以上の自家用電気工作物での実務経験につきましては、会社(事業所)の電気工事業の登録の有無は
問いませんが、実務経験を有する期間に雇用されていた会社(事業所)から証明してもらう必要があります。

法人は法人印(法務局に登録され
ている代表取締役印)
個人は個人印を押印してください
※デジタル印不可です。

実務経験書 3 を用いた場合の実務経験欄の記載例について

※下記サンプルを参考にご自身の実務を記入していただき、会社(事業所)からの証明を
いただけてください。

※前項の実務経験証明書作成時の注意点を一読いただき、下記サンプルを参考に作成して
ください。

① 契約電力 500 kW未満の自家用電気工作物の実務経験で申請

※契約電力 500kW 未満の自家用電気工作物での実務経験を証明するには、実務経験を有
する期間にその会社(事業所)に雇用されており、かつその会社(事業所)が電気工事業
の登録がなされていなければなりません。

※契約電力 500 kW未満の自家用電気工作物の低圧部分の電気工事は認定電気工事従事
者認定証の資格が必要です。

実務経験の期間及び内容		
期 間	職務の内容	
○○年○○月 ~ ○○年○○月	・ 認定電気工事従事者認定証取得 ○○年○○月○○日 契約電力 500 kW未満の自家用電気工作物における電気工事 ①電気主任技術者の指導・監督のもとで作業員として最大契約 500kW 未満の自家用電気工作物の低圧部分の {低圧屋内配線 の分岐回路・コンセントの設置・照明器具取付・引込線の新 設・低圧屋内配線の敷設・点滅器の取付・その他} 等の工事を 行った。 ②実施件数 ○○件 ③その他の工事内容 () ④主な現場 ○○病院○○棟新築工事 (株)○○機械設計ビル新築工事 受電電圧 6.6kV 最大契約 ○○○kW 受電電圧 6.6kV 最大契約 ○○○kW	
通産期間	○年 ○月	

{ } 内の文言については、ご自身の実務経験に
合わせて適当な言葉を選んで記入してください

実務経験現場が2か所以上ある方は、
2か所以上の実務現場を記入してください。
また、それぞれの現場の受電電圧、
最大契約電力を記入してください。

② 一般用電気工作物及び契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物の実務経験で申請

※一般用電気工作物及び契約電力 500kW 未満の自家用電気工作物での実務経験を証明するには、実務経験を有する期間にその会社(事業所)に雇用されており、かつその会社(事業所)が電気工事業の登録がなされていなければなりません。

※契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物の低圧部分の電気工事は認定電気工事従事者認定証の資格が必要です。

実務経験の期間及び内容										
期 間	職務の内容									
○○年○○月 ~ ○○年○○月	・ 第二種電気工事士免状取得 ○○年○○月○○日 ・ 認定電気工事従事者認定証取得 ○○年○○月○○日 (1) 一般用電気工作物等における電気工事 ① 第二種電気工事士免状取得後、主任電気工事士の監督のもとで、作業員として一般用電気工作物の { 新設・増設・改修 } 電気工事に従事し、主に { 低圧屋内配線の分岐回路・コンセントの設置・照明器具取付・引込線の新設・低圧屋内配線の敷設・点滅器の取付・その他 } 等の工事を行った。 ② 実施件数 ○○件 ③ その他の工事内容 () (2) 契約電力 500 k W未満の自家用電気工作物における電気工事 ① 電気主任技術者の指導・監督のもとで作業員として最大契約 500kW 未満の自家用電気工作物の低圧部分の { 低圧屋内配線の分岐回路・コンセントの設置・照明器具取付・引込線の新設・低圧屋内配線の敷設・点滅器の取付・その他 } 等の工事を行った。 ② 実施件数 ○○件 ③ その他の工事内容 () ④ 主な現場 <table border="0"> <tr> <td>○○病院○○棟新築工事</td> <td>受電電圧 6.6kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最大契約 ○○○kW</td> </tr> <tr> <td>(株)○○機械設計ビル新築工事</td> <td>受電電圧 6.6kV</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最大契約 ○○○kW</td> </tr> </table>		○○病院○○棟新築工事	受電電圧 6.6kV		最大契約 ○○○kW	(株)○○機械設計ビル新築工事	受電電圧 6.6kV		最大契約 ○○○kW
○○病院○○棟新築工事	受電電圧 6.6kV									
	最大契約 ○○○kW									
(株)○○機械設計ビル新築工事	受電電圧 6.6kV									
	最大契約 ○○○kW									
通産期間	○年 ○月									

{ } 内の文言については、ご自身の実務経験に合わせて適当な言葉を選んで記入してください

実務経験現場が2か所以上ある方は、2か所以上の実務現場を記入してください。また、それぞれの現場の受電電圧、最大契約電力を記入してください。

③ 事業用電気工作物（架空電線路）の実務経験で申請

実務経験の期間及び内容		
期 間	職務の内容	
○○年○○月 ～ ○○年○○月	左記の期間中、○○電力送配電株式会社管内の電気事業の用に供する電気工作物における高低圧の（6KV 以下）架空電線路の新設・増設工事及び引込線の新設・増設等に作業員として従事した。	
ご自身の実務経験に合わせて工事した内容をできるだけ詳しく簡潔にご記入ください。 （送電線名など具体的な実務経験の場所が判るように記載してください）	①主な作業内容 ・○○電力○○線 架空電線路の架線及び張替工事 （施工件数○○件） ・○○電力△△線 引込線の新設及び張替工事 （施工件数○○件） ・その他の改修工事（○○電力○△線 柱上変圧器取替等） （施工件数○○件）	
	計 ○○件実施	
通産期間	○年 ○月	

④ 事業用電気工作物（発電所、変電所等）での実務経験で申請

実務経験の期間及び内容					
期 間		職務の内容			
	〇〇年〇〇月 ～ 〇〇年〇〇月	左記の間中、電気事業の用に供する電気工作物を対象に下記の電 気工事に従事した			
		①〇〇電力送配電(株)変電所(発電所)での電気工事			
		変電所内変圧器取替			
		制御盤取替に伴う電気配線工事			
		構内高圧架空電線の架設工事			
		構内柱上変圧器及び柱上開閉器の取替			
		構内高圧地中ケーブル敷設及び接続			
		②施件数 〇〇件			
		③その他の工事内容（ ）			
		④主な現場			
		〇〇電力送配電(株)〇〇変電所	送電電圧	〇〇kV	
			最大電力（設備容量）	〇〇〇kW	
		〇〇電力送配電(株)〇〇変電所	送電電圧	〇〇kV	
			最大電力（設備容量）	〇〇〇kW	
通産期間		〇年　〇月			